

JICA 九州主催 2025 年度
学校教育/教員向けセミナー
開発教育指導者研修報告書

■2025 年度研修概要

教育現場において開発教育/国際理解教育(以降「開発教育」)を実践できる教員を増やし、開発教育を普及させることを目的に、年間4回開催される研修を、基礎編(開発教育の理論的理解)、応用編1(参加型学習手法)、応用編2(参加型手法・開発教育普及)に分けて実施した。基礎編受講者が、応用編1、応用編2を経て教育現場で実践できる知識とスキルを習得することを目指したが、開発教育初心者だけではなく、実践経験者も理論的理解の整理や手法のスキルアップとして活用できる研修としたことで、初心者と実践経験者のどちらのニーズにも応えられるような内容とした。基礎編にも「手法」を取入れ対面開催を行ったとともに、応用編では対面で手法を学べるよう、同一内容の研修を北九州市のほか、南九州からの地理的アクセスが良い熊本市でも開催した。

【目的】

- 開発教育に関心を持つ教員が、年間を通した研修に参加し、教育現場での実践に繋げる自信を得る。
- 過年度の JICA プログラムに参加し、既に教育現場での実践を行っている教員が新たな学びを得る。
- 開発教育を実践している教員が、同教育を広めるための環境づくりのためのヒントを得る。

【年間研修概要】

開催日	研修形態・会場	研修内容	講師
7月27日(日)	JICA 九州 オンライン	第1回研修(基礎編) ・ 開発教育の概要 ・ ESD(持続可能な開発のための教育)やSDGsとの関連について ・ 参加型手法の紹介(フォトランゲージ)	佐藤秀樹氏 JICA 地球ひろば 総括主任
8月17日(日)	熊本市国際交流会館 オンライン	第2回・第3回研修(応用編1) ・ 手法としての対話(講義+実践) ・ 人権をベースとする考え方について ・ ロールプレイと振り返り(多文化共生社会に向けて)	佐藤倫子氏 大学講師
8月24日(日)	JICA 九州 オンライン		
2026年 2月1日(日)	JICA 九州 オンライン	第4回研修(応用編2) ・ 開発教育の目的、内容、進め方 ・ 開発教育のもたらす影響について ・ 開発教育の普及拡大に向けて (いずれも、講義とワークショップで実施)	伊沢令子氏 NIED(国際理解教育センター)代表理事

■第1回研修

【研修概要】

開催日時・ 参加形態	7月27日（日） 13:00-14:30 対面及びオンライン
開催会場	JICA 九州
講師	佐藤秀樹氏 JICA 地球ひろば総括主任
参加者	対面2人、オンライン5人、録画ビデオ視聴者1人

研修は、前半の理論編と後半の手法紹介とに分けて実施した。前半では以下の内容が講義された。

- 教育現場の状況変化についての説明、及び、これからの時代に求められるコンピテンシーの涵養と持続可能な開発のための教育（ESD）との関連
- 開発教育/国際理解教育の ESD への貢献
- 開発教育、国際理解教育の相違点
- 教育現場で取り扱われる SDGs への理解や取組みについて具体的事例を用い、授業で再現できる「問い」例の紹介

後半は、開発教育実践の考え方として、フォトランゲージの実演、並びに、「他者」を理解することで、自己中心的な視点を脱し、世界を見る視点を獲得する重要性について、JICA 海外協力隊の事例を用いて説明された。

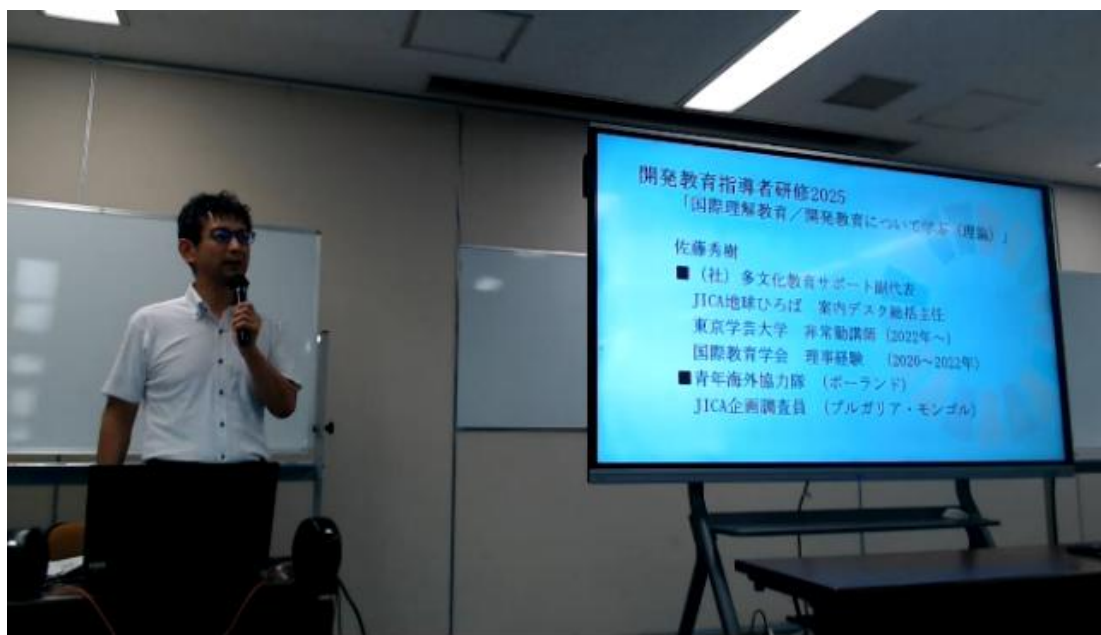
【参加者満足度】（6 名が回答）

とても良かった	3
良かった	3

【参加者感想】

- ・ インタラクティブ要素が失われますが、録画したものがあれば、参加時間の制限（別件で参加できないなど）もなくなるので可能であれば、希望者だけでも録画したものを提供いただけますとより多くの方が参加できる。
- ・ 自己中心的⇒他者⇒自己変容 の気づきが大切であることを学びました。
- ・ ツールを知る事ができた。
- ・ 開発教育の流れや手法など分かりやすかった。忘れていた知識を取り戻しました。
- ・ 開発教育と国際理解教育の違いが理解できた。また、開発教育の見方を改めて理解できた。

【研修の様子】



■第2回・第3回研修

【第2回研修概要】

開催日時・	8月17日（日） 14:00-17:00
参加形態	対面及びオンライン
開催会場	熊本市国際交流会館
講師	佐藤倫子氏 大学講師
参加者	対面6人、オンライン1人

【第3回研修概要】

開催日時・	8月24日（日） 13:00-16:00
参加形態	対面及びオンライン
開催会場	JICA九州
講師	佐藤倫子氏 大学講師
参加者	対面9人、オンライン0人

（第2回、第3回共に同じ）

研修は、次の3点のねらいを以って、「人権」及び「多文化共生」をテーマとして、講義、対話の実践、ロールプレイ、振り返りによる構成で実施された。

<ねらい>

- ① ワークショップや参加型学習のファシリテーターとして必要なスキルである「対話」について、実践を通して体感をする。
- ② 国際理解教育・開発教育の参加型学習の手法について講義や演習を通して学ぶ。
- ③ ①②を通して、参加者同士良好なコミュニケーションの経験をし、自分自身の人権感覚を振り返る。

研修の前半は「人権」をテーマとし、使用教材「糸島市こどもの権利条例逐条解説」から参加者が「前文」、「総則」、及び「考えを表明し参加できる権利」を一読した後、参加者同士が「話す」「聴く」のルールを守って互いの考えや意見を交換することで、話す安心感を得ながら、相手の意見を尊重したり、共感したりすることを体験した。

研修の後半は、参加者が避難所における「市役所職員」、「外国人住民（留学生）」、「日本人住民」として、話合いを通してお互いの問題や要望を伝えるロールプレイを行った。その後、参加者は、演じた役、ロールプレイ中の対話についての考え、また、演じる間に生じた自分や他者の感情を振り返り、ロールプレイを使って想像力や共感を得る体験をした。この振り返りのなかで、研修前半で行った「話す」「聴く」のルールを守る対話の実践が再び行わ

れた。

【第2回・参加者満足度】（4名が回答）

とても良かった	1
良かった	3

【参加者感想】

- ・ とても分かりやすい進みと内容でした。レジメもあり講話の進みが分かりました。
- ・ 普段、あまり聞いた事のないお話しでしたので違う分野のお話は為になりました。
- ・ 長時間なので身構えましたが、話題がたくさんあり、あっという間でした。普段の生活では気づけないことを教えていただきました。
- ・ お話しが分かり易かったです。

【第3回・参加者満足度】（9名が回答）

とても良かった	6
良かった	3

【参加者感想】

- ・ いろんな視点での授業の入り方を知ることができ、実際に体験することで、どうすれば授業で生徒が考えることにつながるのかを感じることができたため。
- ・ 実践的な学びがたくさんありました。
- ・ 国際理解教育に必要とされる基本的なスタンスを学ぶことができた。対話の姿勢やロールプレイの手法などを取り入れたい。具体的な国際理解教育の事例をもう少し学べたら有難かったが、正解のないものなので手法を学んでいくことが大切なのだと感じた。
- ・ 話したことを書いて考える。これができたのでわかりやすかったです。
- ・ 自分が知らなかった、すぐ実践できるアイデアがたくさんありました。
- ・ 佐藤さんの研修が有意義だった。
- ・ 新しい見方を発見することができたから。
- ・ 現職教員の方々の熱意に触れられた事、短期留学参加者の顔合わせでのアイスブレイクのヒントをもらえたため。
- ・ 色々な方の考えが聞けて良かった。



■第4回研修

【研修概要】

開催日時・ 参加形態	2026年2月1日（日） 9:00-13:00 対面及びオンライン
開催会場	JICA 九州
講師	伊沢令子氏 NIED 国際理解教育センター 代表理事
参加者	対面 24人、オンライン 2人

先に開催した第1回から第3回研修までとは異なり、当研修は、今年度の教師海外研修の最終報告会と併せて開催することで、開発教育の考え方や実践手法の学びのみならず、参加者同士の考えや経験を交換する学びあいの「場」としての目的があった。

当研修は、次の2点をねらいとして、講義及び手法の紹介と実践に基づいて実施された。

<ねらい>

- ・ 開発教育・国際理解教育の目的、内容、手法を確認し、この教育に取り組む意義と可能性を共有する。
- ・ 開発教育・国際理解教育の担い手が増えるよう、周囲の理解を促し実践に巻き込む手立てを考える。

当研修は上記「ねらい」に合わせ、2つの部分で構成されており、第1部では「開発教育の目的、内容、進め方、及び開発教育の可能性について」、また、第2部では「開発教育を広げるための考え方について」とのテーマが設定され、それぞれのグループワークでは作業するメンバーを頻繁に入れ替えながらワークショップが展開された。

参加者はテーマの目的に沿った手法（マトリックス表、派生図、因果関係図、リスト、ランキング、二元軸表、KJ法）を使ってグループワークをしながら、各手法についての基本的な考え方や効果的な運用方法などを学んだ。また、グループワークの最中には、「あ～いいですね。」「確かに！」や「なるほどですね。」の相槌があちこちのグループから頻繁に聞かれ、参加者がお互いに求められるグループワークの中での対話や意見交換から多くの気づきを得ている様子が見られた。

【参加者満足度】（17名が回答）

★★★★★	15人
★★★★	2人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

【参加者感想（抜粋）】

- ・ とても学びが多かった。前回とまた全然違う実践もあり、さっそくやってみたくなった。
- ・ いろんな手法を知れてよかったです。
- ・ 先生方の違う視点での意見がたくさん聞けた。
- ・ たくさんのワークショップを実体験でき、生徒の気持ちで活動できて良かった。
- ・ 色々なアイデアを頂くことが出来ありがたいです。
- ・ 多くの学びと出会いに感謝です。
- ・ 日々の授業で使える素材がたくさん学べました。特に、原因の深掘りは今まで行ったことがなかったので、参考になりました。
- ・ 楽しくインプット、アウトプットでき、色んな先生方と繋がりができた。
- ・ 様々な実践の手法を【行動】に繋がるまで学べたから。改めてなぜ本教育をするのか、どのように生徒たちになってほしいのか改めて見直せたから。
- ・ 講師からの学びが多すぎました。しっかり振り返りたいです。
- ・ 時間があっという間でした。楽しかったし、たくさんの手法を教えてもらいました。
- ・ 問いのつくり方、ファシリテーションについて学ぶことができた。

